

# 令和 3年度 管理事業評価調書(3年度対象)

事業コード	0820	事業名	県立病院事業			
所属名	病院事業庁経営課	評価責任者	経営課長 糟谷 良伸			
		作成責任者	林 善久	ダイヤルイン	052-954-6307	
政策名	県行政の円滑な運営		施策名	予算編成・執行管理を通じた健全な財政運営の確保		
事業目的	県立病院事業会計の救急医療の確保及び建設改良に要する経費等の一部を一般会計において負担する。					
根拠法令・計画等	地方公営企業法第17条の2、地方公営企業法施行令第8条の5					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
			3年度(当初)	2年度(当初)	2年度	1年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	0.50人( 人)	0.50人( 0人)	0.50人( 人)	0.50人( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人( 人)	0人( 0人)	0人( 人)	0人( 0人)
	経費	人件費(a)	4,944 千円	5,288 千円	5,053 千円	5,156 千円
		事業費(b)	8,860,569 千円	8,996,387 千円	8,546,909 千円	8,112,950 千円
		公債費(c)	531,803 千円	0 千円	534,616 千円	537,447 千円
		計(a)+(b)+(c)	9,397,316 千円	9,001,675 千円	9,086,578 千円	8,655,552 千円
	収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	経費のうち、一般財源等		9,397,316 千円	9,001,675 千円	9,086,578 千円	8,655,552 千円
事業計画の内容及び事業費の内訳	県立病院事業会計の救急医療の確保及び建設改良に要する経費等の一部を一般会計において負担するものです。 負担金(繰出):8,860,569千円(8,546,909千円) (救急病院 914,895千円(救急医療の確保に要する経費) 建設改良 2,150,286千円 保健衛生行政 1,525,590千円(うち、研究所運営に要する経費 1,034,173千円) 精神医療 708,890千円 高度医療 1,727,476千円 小児医療 644,593千円 共済追加費用等 1,188,839千円)					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式／解説)		目標年度	目標値	実績値・見込
		1	ICU緊急入院患者数	最終目標	100人	
				令和3年度	100人	100人 (見込)
				令和2年度	100人	86人 (実績)
		2	がんセンターにおける研究所と病院との連携研究数	最終目標	49件	
				令和3年度	49件	49件 (見込)
				令和2年度	49件	67件 (実績)
		3	県民当たりコスト(PL経常費用/本県人口)	最終目標	-	
				令和3年度	-	- (見込)
				令和2年度	-	1,133円 (実績)
		4		最終目標		
						(見込)
		5		最終目標		
						(実績)
		外部要因等	なし			
目的の達成に関する評価	C:相当程度進展あり (判断の理由) 主要な指標:2(理由:目標設定した指標の中で、最も多くの負担金を受け入れている項目に係る指標のため) ICU救急入院患者数は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で減少した。令和3年度の4～7月の実績は46件となっており、相当な期間を要せず目標が達成が可能であると考えられる。がんセンターにおける研究所との連携研究数については、目標を達成した。					
コスト指標の増減分析	2年度の県民当たりコストは、負担金の受入額が増加し、1年度の1,074円に比べて59円増加した。					
課題	県民の医療ニーズを踏まえた、救急医療・高度先進医療などの政策医療を提供するため、一層の診察機能の充実・強化に取り組む必要がある。					
今後の方向性	今後も引き続き、県立病院として求められる医療を着実に提供していく。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。